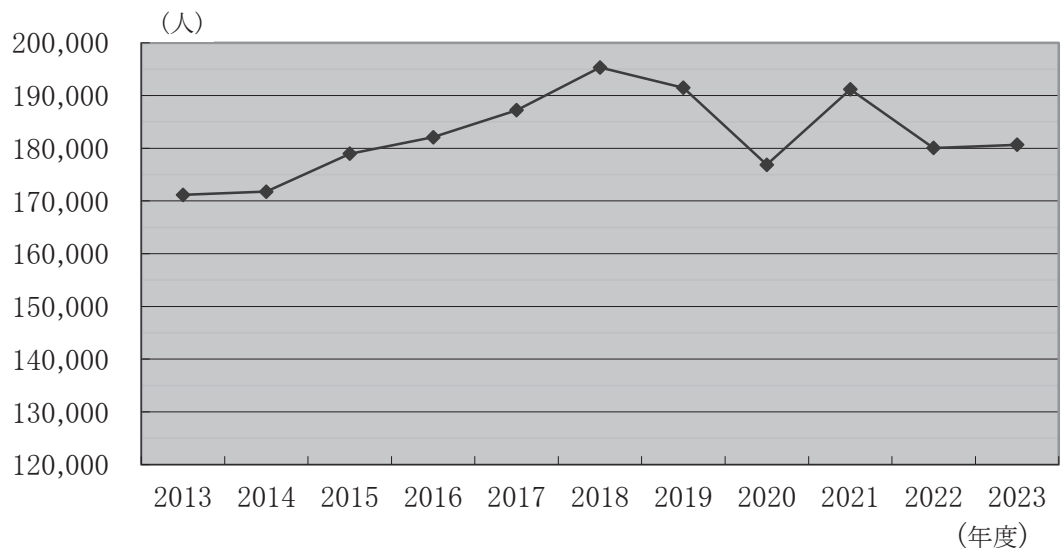


Ⅱ－２

２．入院診療実績

在院患者延数は1999年度以降一時130,000人台で推移してきたが、平均在院日数の短縮化に伴い、2005年度以降は128,000人台で推移していた。2008年度・2009年度の増床により17%以上増加し、2010年度以降は毎年微増し、2018年度には190,000人台に突入した。2019年度・2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり170,000人台まで低下した。2021年度は190,000人台に回復したが、2022年度以降は病床制限の影響もあり、再び減少に転じた。

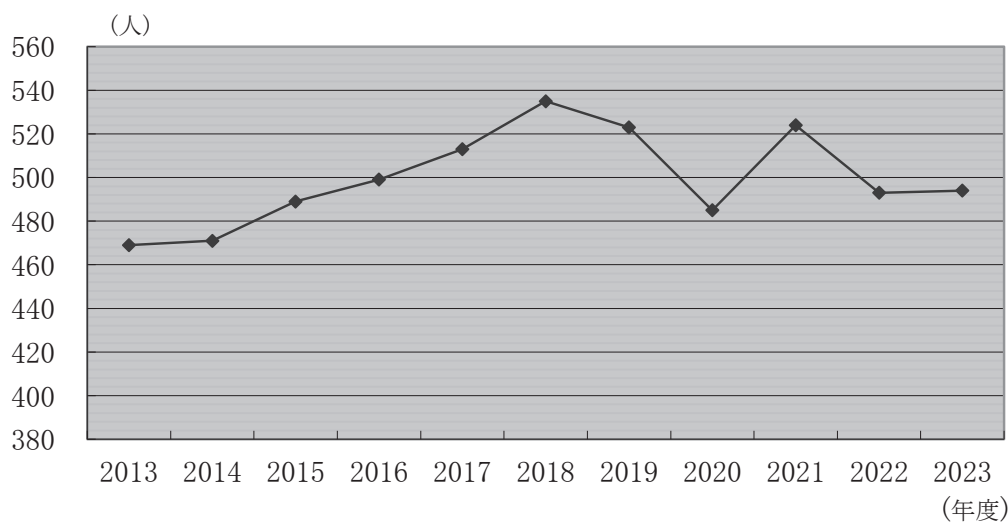
①在院患者延数



(単位：人)

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
在院患者延数	171,170	171,786	178,970	182,095	187,234	195,328	191,470	176,882	191,190	180,054	180,654

②1日平均在院患者数

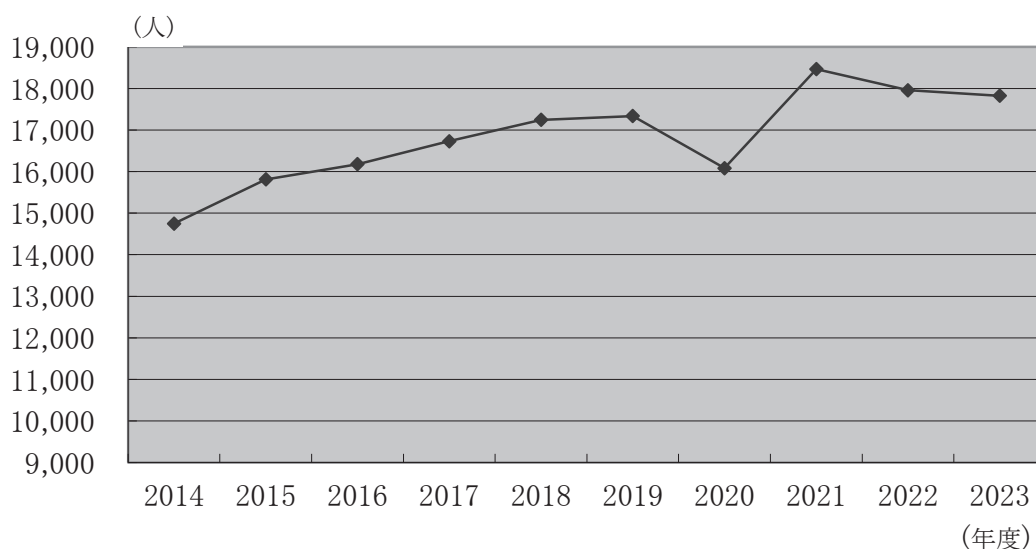


(単位：人／日)

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
1日平均在院患者数	469	471	489	499	513	535	523	485	524	493	494

新入院患者数は増床、平均在院日数の短縮化等により毎年度増加している。病床稼働率については、2008年度に産科及び小児科病棟が開棟したものの、本格稼働には至っていないこと等により2009年度には一時81.3%まで低迷した。2010年度以降は徐々に回復傾向にあり、2018年度には92%台に達したが、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり低下に転じた。2021年度は大幅に増加したものの、2022年度以降は病床制限の影響もあり、再び低下傾向で推移している。

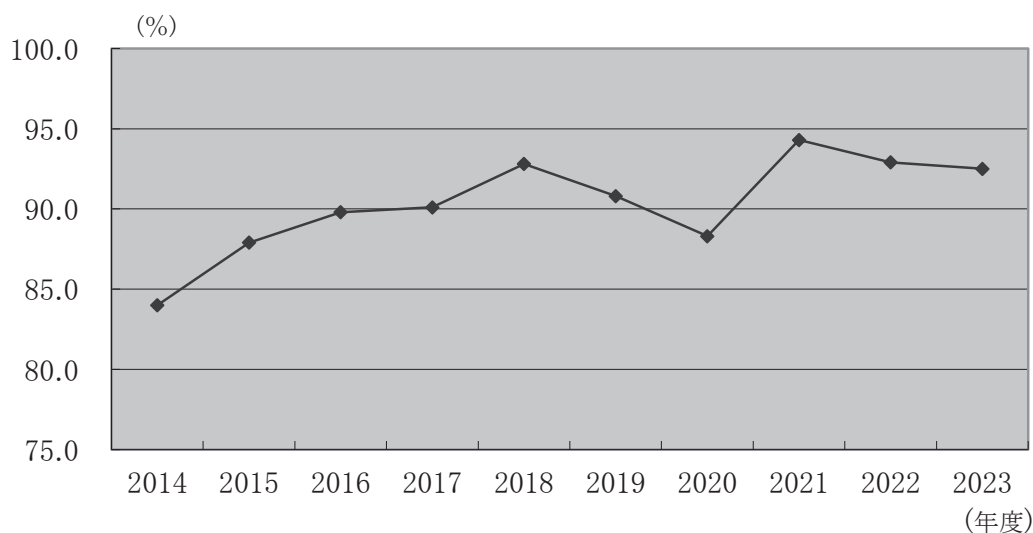
③新入院患者数



(単位：人)

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
新入院患者数	14,749	15,810	16,179	16,729	17,243	17,334	16,083	18,464	17,958	17,824

④病床稼働率

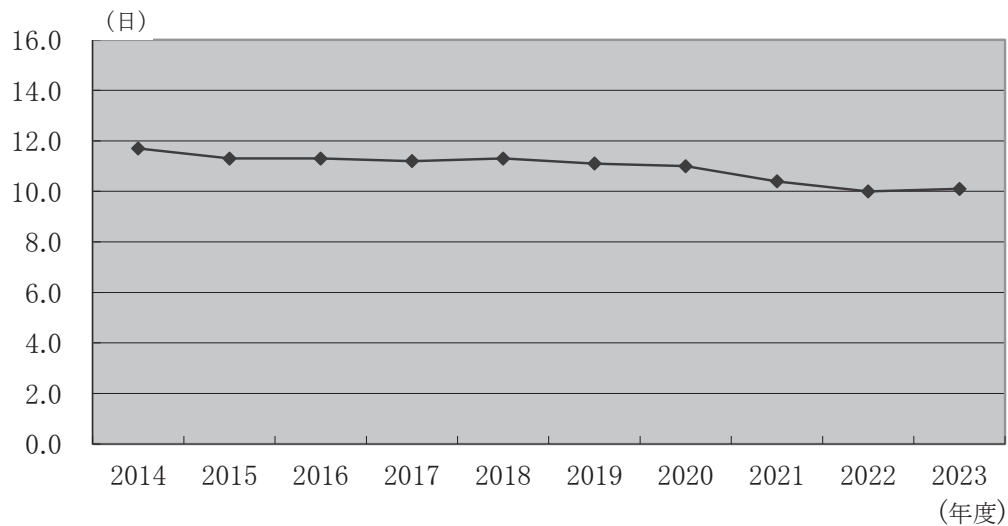


(単位：%)

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
病床稼働率	84.0	87.9	89.8	90.1	92.8	90.8	88.3	94.3	92.9	92.5

平均在院日数については、クリニカルパスの推進等の努力の結果、11日台で推移してきた。2021年度以降はさらに短くなり、10日台になっている。

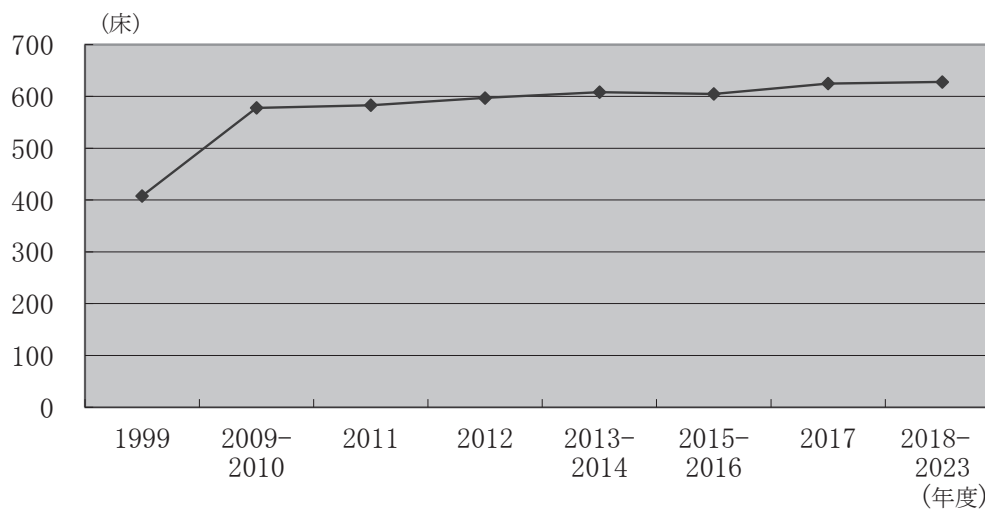
⑤平均在院日数



(単位：人)

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
平均在院日数	11.7	11.3	11.3	11.2	11.3	11.1	11.0	10.4	10.0	10.1

⑥病床数



(単位：床)

年度	1999	2009-2010	2011	2012	2013-2014	2015-2016	2017	2018-2023
病床数	408	578	583	597	608	605	625	628